



豊田市指定文化財 守綱寺障壁画(守綱寺蔵)

徳川家康の家臣として武功を挙げ、徳川十六将に数えられる武将・渡辺半蔵守綱。彼を初代とする渡辺家は江戸時代を通じて寺部を治め、守綱寺を菩提寺としました。

守綱寺の本堂には、金地に松と鳥を描いた襖が設えられています。徳川家に重用された狩野派の手によるものとされ、平成29年(2017)には豊田市の指定文化財となり、平成30年度から愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所で修理を行いました。

今回の展覧会では、修理を終えた襖絵をご覧いただくとともに、襖の下張りに使用されていた古文書についても紹介します。

修復作業と下張りの調査



襖の解体



蛍光X線による絵の具の分析



下張りの古文書

ギャラリートーク

3月28日(土)、4月5日(日)
午後1時30分～2時

4月9日(木)は、寺部を治めた渡辺家の初代・守綱の没後400年を記念して、守綱の活躍が描かれた長篠合戦図屏風ポストカードをプレゼント(先着50名)

真宗大谷派 渡辺山 守綱寺

渡辺家の菩提寺で、2代重綱が初代守綱の墓を築いたことに始まります。本堂は、正保元年(1644)に伏見城の軍議評定所の建物を拝領して建てたと伝えられます。



本堂(豊田市指定文化財)



本堂内陣の左右にある板の間の襖絵(西側)



(東側)

問合せ先

豊田市郷土資料館

TEL 0565-32-6561
FAX 0565-34-0095

E-mail info@toyota-rekihaku.com
http://www.toyota-rekihaku.com/
f https://www.facebook.com/toyotarekihaku

会場

豊田市郷土資料館

〒471-0079 愛知県豊田市陣中町1-21-2



【公共交通機関ご利用の場合】

- 名鉄「豊田市駅」より北へ徒歩15分、「梅坪駅」より南へ徒歩10分
- とよたおいでんバス「陣中町一丁目」下車徒歩5分

